

学習指導案 5 / 9

(1) 指導目標

「雨のうた」のイ短調及びハ長調の和声の響きを感じ取りながら、曲のよさや面白さが伝わるような伴奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもつことができるようにする。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)・支援 (●)・発問 (★)	評価規準と評価方法
導	0 音楽遊びをする。	○ケチャのリズム遊びをして楽しく学習が始められるようにする。	
入	1 めあてをつかむ。	○前時を振り返り、曲のよさや面白さについて話し合ったことを確認し、本時の学習に見通しをもつことができるようにする。	
展	<p style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">イ短調とハ長調の響きを生かしながら、伴奏の仕方を工夫しよう。</p>		
	2 イ短調とハ長調の和声の響きを感じ取りながら演奏の仕方を工夫する。	<p>○イ短調とハ長調の響きの変化が曲の面白さであることを確認し、それらの変化が生かされるように伴奏の仕方を工夫することを伝える。</p> <p>○楽譜を基に、伴奏に当たる部分(低音, 和音)を確認し、どこ部分を演奏するのか理解させるようにする。</p> <p>○5～6人のグループをつくらせ、互いに感想や助言を伝え合いながら活動できるようにする。</p>	
開	(1) 担当するパートを選ぶ。	<p>○伴奏の部分を演奏して聴かせ、低音か和音のどちらかを選ばせるようにする。</p> <p>○パートの特徴に合った楽器をグループで話し合っ選ばせるようにする。</p>	
	(2) どこを、どのように演奏したいか考える。	○前時に話し合った音楽のよさや面白さを確認し、それらが伝わるような演奏の工夫について考えることができるようにする。	
開	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">★ 曲のよさや面白さが伝わるように、どこをどのように気を付けて演奏したいですか。</p>		
	<p>○イ短調とハ長調の部分を確認し、それぞれの雰囲気合った伴奏の仕方を考えることができるようにする。</p> <p>○グループでの話し合いの前に、自分の考えをワークシートに記入させ、自分の考えをもって学習に取り組むことができるようにする。</p>		

展	(3) グループでどのように演奏したいかについて話し合う。	○どこを、どのように演奏したいかグループごとに話し合いながら、工夫する点が明確になるように、各自の楽譜に記入させる。	「雨のうた」のイ短調及びハ長調の和声の響き、音楽の縦と横の関係を聴き取り、それらの働きが生み出す曲のよさや面白さを感じ取って演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。 【創② ワークシート・行動観察】
	(4) グループで演奏の仕方を工夫する。	○演奏の仕方を工夫しながら、更に気付いたことはワークシートの楽譜に書き加えさせ、グループで工夫を重ねていくように助言する。	
開		★ 曲のよさや面白さが伝わるように、どこをどのように気を付けて演奏したいですか。	
		●どこをどのように演奏するかについて考えをもつことができない児童には、友達がワークシートに書いた内容を参考にさせる。	
	(5) 成果発表をして、感想を伝え合う。	○互いのグループの工夫点や良かったところを認め合い、自分たちの演奏に生かすことができるものは、次時の学習で参考にするように伝える。 ○CDに合わせて演奏させることで、主な旋律や伴奏を聴き、イ短調とハ長調の和声の響きの違いを感じ取りながら演奏することができるようにする。	
／ ま と め	4 次時の学習を知る。	○次時は、「雨のうた」を通して演奏することを確認する。 ○本時のめあてを振り返らせ、次時への意欲を高めるようにする。	

〈評価規準と評価方法〉

「雨のうた」のイ短調及びハ長調の和声の響き、音楽の縦とを聴き取り、それらの働きが生み出す曲のよさや面白さを感じ取って演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。【創② ワークシート・行動観察】		
十分満足 (A) と判定する目安	おおむね満足 (B) と判定する目安	●どこをどのように演奏するかについて考えをもつことができない児童には、友達がワークシートに書いた内容を参考にさせる。
イ短調とハ長調の部分について、それぞれどこをどのように工夫して演奏するのかをワークシートの楽譜に2つ以上ずつ書いたり、音楽の縦と横の関係や和声の響きと関連させた工夫を具体的に書いたりしている。	イ短調とハ長調の部分について、それぞれどこをどのように工夫して演奏するのかをワークシートの楽譜に1つずつ書いている。	